

# 【伊能忠敬測量日記から屋久島関係】

山本秀雄

伊能忠敬先生は幕府の天文方役人で、二百年も前に幕府の命令で全国測量を手がけ、その偉大な功績は内外に高く輝いています。ご自身の「測量日記」、東大南校本の「大日本沿海実録」を頂点に、大谷亮吉著「伊能忠敬」に集大成され、また「地歴測量の専門書」、「教科書」、「偉人伝」に、或は測量した各地の「郷土史」等にも多く足跡が記載されていますが、それを県内に見るとき、古くは「島津国史」、「垂城録」、「種子島家譜」に、戦後のものとしては鹿児島大学の増村宏先生の「伊能忠敬の鹿児島測量関係資料並に解説」に詳細である。

尚、屋久島・種子島関係は、同じく増村宏教授のものされた「伊能忠敬の屋久島種子島測量」か、鹿大文学部紀要の第一号、同第二号の「伊能忠敬測量当時の種子島の場合」によって尽きるかにも思われるが、地元・屋久島所在の資料が見えないので、最後に上屋久町文化財指定「楠川文書」から四点を追加しておくが、出色は、坂部貞兵衛・永井甚左工門の二枚の「止宿先名札」ではなからうか。

『楠川文書』四点の件名は左の通り

一 文化九年（一八一二）五月に提出した「測量方夫立帳」

二 同 九年二月、「測量方一件 差出留」

三 同 九年正月二十九日、「差出書」

四 同 「止宿先名札（表札）」二枚

追加 平成十二年六月二十五日、「伊能の碑」建立

場所 宮之浦川唐船測の河畔

（注）村名や船舶の入発航地は間違いか、誤字かと思議に思われる方もありますが、これは決して間違いではなく、大字・小字、村の区分、読み方も奉行所から幕府に届けた通りかと思えます。例えば測量方一行が最初に着いた村は安房であるが、その記録に安房は、大隅国・取謨郡（屋久島）、安房を吉田村の属村と書いてあります。従って文化年の屋久島の大字は四ヶ村、長田、吉田、栗生、それに口永良部を入れたものです。

対する小字は長田に属村がなく自村の長田のみ、吉田村には吉田・一湊・志戸子・宮之浦・楠川・小瀬田・船行・安房の八ヶ村、栗生に属する小字は栗生・中間・湯泊・平内・小島・尾之間・原・麦生の八ヶ村となっています。尚、現在は立派な村落でも二百年前には成立なく、更に古い集落で現在は消滅した村のあるも当然といえます。

伊能忠敬の

屋久島 種子島 測量について

伊能忠敬測量日記からの紹介

文化九年(一八一二)

A-1

三月廿五日 朝ヨリ小雨 又止 又雨

逗留

同 廿六日 朝 曇 午後ヨリ晴 此夜

明朝 出帆可成と船手ヨリ申出ル

同 廿七日 前夜ヨリ晴天 西風 曉七

ツ半頃ヨリ荷物積立 六ツ後 山川港

出船 午前西風少 午後ヨリ戌ノ風二

なり 順風ニテ夜四ツ前 大隅国馭諷

郡屋久島 吉田村属 安房村川湊二着

止宿 善蔵 善治郎 幸八の三軒に分

宿

同 廿八日 晴天 測量支度ニテ逗留

此夜 測

同 廿九日 曇天 六ツ後 一同 屋久

島吉田村属 安房村湊川 中四十八間

測所ヨリはじめ 珠印を成○一丁廿四

間 夫ヨリ山を右二同村内字長江迄測

◎一里〇八丁三十八間一尺 九ツ後二

帰宿 此日九ツ頃ヨリ雨 続テ降ル

四月朔日 前夜ヨリ雨 続テ降ル 七ツ

後止ム

同 二日 曇天 此日ヨリ大手分 浪高

二付 両手共見合 別手 坂部 永井

箱田 保木甚七 薩州付四役 松本十

郎兵衛 田中忠右工門 山本十蔵 足

軽田中彦右工門 久保与兵衛 小田原

庄八 池田竜右工門 野添伊三治 平

川八郎 坂元五郎太 用聞 堀田正左

工門 藤田喜右工門 斎藤治右工門

船頭 中村安兵衛 初数人 測量手伝

定人夫十五人 其外小役人差添 但足

軽迄ハ薩州本〇〇測量 薩州界ヨリ付

回役人 波少静成二付 四ツ後出立

同村字長江ヨリ初〇〇 今泉 門谷

尾形佐助 薩州付回留守居添役 平田

治郎八 差添 椎原与三次 蔵方目付

東郷八左工門 足軽山本半七 竹下庄

八 濱嶋廣左工門 村山六郎 田尻与

三治 本戸助 田中治郎右工門 用聞

児玉金石工門 大山甚右工門 松田金

助 此迄の人とは大口街〇に〇出 案

内せし者 船手大船頭ハ大和田 幸助

其外数人 測量手伝 定人夫十五人

其外小役人 差添〇 人数ハ鹿児島城

下士 帆所二記入

此日浪高クなれ共 海岸少シハ測量相

成由二付 五ツ頃 当村二十九日 〇

印ヨリ初 左山二初 安房川諸川に係

吉田村属 船行村迄を測◎二十九丁◎

三間 九ツ前ニ安房村ニ帰宿

四月三日 朝ヨリ曇天 案内遅参ニ付

五ツ前 安房村出立 測人 同前 昨

日測留 船行村ヨリ初 吉田村属 小

瀬田村止宿前迄測◎一里八丁

本慶寺

A-2

三十五間二尺八寸五分 八ツ後二着

四月二日 朝曇 浪高キ付見合 四ツ後

出立 安房村字長江ヨリ初 粟生村属

麦生村迄測 此日波高 船測なくす

海岸大岩◎一里一十二丁三十七間二尺

止宿 日蓮宗 本慶寺 別宿 善治郎

同 三日 曇 八ツ頃 小雨 直二止

粟生村属 麦生村ヨリ初 同所属 原

村 同所属 尾之間村迄測◎一里三十

一丁四十二間 止宿 日蓮宗 本經寺  
別宿 喜藏

同 四日 朝ヨリ大雨 同所 逗留 七  
ツ頃 雨止

同 五日 朝曇 四ツ頃ヨリ追々晴 尾

ノ間村ヨリ初 栗生村属 小島村浦崎  
岬八當島ノ極南 栗生村属 平内村内  
椎野村 此村人家なし 平内村ノ内二  
なる 栗生村属 湯泊村迄測〇二里三  
十五丁五十一間 止宿 金助 平蔵  
孫四郎

同 六日 朝 晴天 午後ヨリ曇 湯泊

村初 栗生村属 中間村まよ里 栗生  
村迄測〇二里〇〇丁一十二間二尺四寸  
止宿 治右エ門 助左エ門 市蔵

同 七日 曇 時々小雨 栗生村逗留

測同村ヨリ初 芋印を浦 芋生川巾四  
十五間 長田村地内迄測〇一里一十〇  
丁〇八間 又芋印ヨリ初 芋生川縁ヲ  
栗生村上岩迄測〇八丁一十六間 合一  
里一十八丁二十四間

同 八日 朝ヨリ雨 次第二大雨 同所  
逗留

同 九日 朝ヨリ曇 波高測量不相成

逗留 四ツ時ヨリ小雨 夫ヨリ大雨

同 十日 曇 北風強 船測不成 見合

四ツ後ヨリ出立 七ヨリ測留 長田村  
地内ヨリ初 同村内岩印を測〇二十四  
丁三十三間 又岩印ヨリ山測〇二丁廿  
四間

同 十一日 朝ヨリ晴天 北風強 四ツ

頃迄見合 出立 昨日 測留 岩印ヨ  
リ初 長田村字ユルンデ岬ニテ別手と  
合測 六ツ頃前〇一里一十三丁五十九  
間 両手一同 長田村着

同 十二日 朝ヨリ小雨 見合 九ツ後

風静二付 一同乗船 長田村出立 五  
里 吉田村属 宮之浦江 七ツ半頃ニ  
着 止宿 万助 濱助 孫兵衛 此日  
波浪大二静 夜雨

同 十三日 朝雨〇〇止テ大曇 見合

又風雨二付 同所逗留  
同 十四日 朝雨 或止 或雨 南風  
乗船〇成見合 坂部 永井 菅田 保  
木甚七

止宿 日蓮宗 本明山光正寺 一同一

朝 此夜不測

四月四日 前夜ヨリ雨 九ツ半頃迄降ル

A-3

同所 逗留 此夜曇 晴 少測

同 五日 朝ヨリ晴 小瀬田村 止宿前

ヨリ初 吉田村属 楠川 午食 百姓  
仲助 此村家数百二十軒斗 吉田村属  
宮之浦村川湊止宿前迄測 二里〇五丁  
二十四間四尺七寸不

同 小瀬田村 海迄ヨリ 宮之浦宮印迄

〇一里三十五丁三十五間〇五寸  
小瀬田村測所ヨリ打下〇二丁廿二間四  
尺二寸 宮之浦測所ニ打上〇三丁二十  
七間 九ツ後に着 止宿 万蔵 濱助  
此夜 測

同 六日 晴天 宮ノ浦村逗留 測 朝

六ツ後 同所川口宮印ヨリ初 吉田村  
属 志戸子村内 石濱迄測〇一里三十  
二丁一十三間一尺二寸 六ツ前二帰宿  
同 七日 曇天 朝六ツ後 宮ノ浦村出  
立 歩行 二里程 志戸子村内石濱ヨ  
リ初 吉田村属 一湊村川口迄測〇一

里〇二丁〇四間二尺 外二矢筈岬 片  
測一十三丁 四十〇間一尺 川口ヨリ  
止宿打上〇三丁二十五間 小測引付一  
十八間 合一里二十九丁〇間三尺 一  
湊村江七ツ頃二着 止宿 万助 新助  
曇不測

同 八日 朝曇 六ツ後 一湊村出立

同所川口ヨリ初 吉田村地内迄測 午

前小雨 午後大雨 大浪二付 八ツ頃

打留◎一里三十四丁四十三間一尺 夫

ヨリ八ツ頃二長田村着 止宿 久八

要助 坂部用意宿 千治郎 此夜大雨

同 九日 大曇 午後ヨリ度々雨 四ツ

後 長田村川口ヨリ逆測 昨日打留

吉田村地内迄を測◎一里〇二丁〇四間

〇八寸 外川口ヨリ止宿打上◎二丁一

十五間 七ツ前帰宿 夫ヨリ別而大雨

終夜 朝迄降ル

同 十日 朝 雨 見合 雨止 四ツ半

頃 長田村川口ヨリ順測 同村字岬前

迄測◎一十七丁二十八間四尺 波高二

付 船測不相成 海岸大岩石ノ測 八

ツ半頃二帰宿 此夜 晴テ 測量

同 十一日 朝 晴天 北風〇 浪高二

付見合 四ツ前に乗船 昨日 測留

岬前ヨリ初 同村内 字ユルンテ岬二

而別手と合測◎一里二十五丁〇八間五

尺六寸 合一里廿八丁 外二岬片測〇

三丁一十八間 廿六間五尺六寸

六ツ前出会 夜六ツ後 両手共長田着

屋久島手分 坂部 永井 筥田 保木 甚七

小瀬田村泊二陸行 遂ニ安房村ニ至

る 八ツ半後ニ安房村江着 〇〇今

泉 門谷 尾形 佐助 久保木 宮

ノ浦村 逗留 明朝 乗船 安房村

江舟行〇居 大西風となるニ付 浪

高なるより八ツ後 乗船 七ツ半前

安房村江着 陸行 先手ヨリ半時程

遅着 止宿八同前

四月十五日 曇 種子島渡船 仕立二付

逗留

同 十六日 朝ヨリ晴天

同 十七日 曇天 西風 四ツ前ヨリ晴

此夜 測

同 十八日 曇天 東風

同 十九日 前夜ヨリ雨 五ツ頃ヨリ大

雨続ヨリ 夜も同

同 二十日 曇 度々雨降

同 廿一日 晴 曇 四ツ頃ヨリ晴天

此夜 測量

同 廿二日 朝ヨリ曇 午後ヨリ微雨

暮ヨリ雨

同 廿三日 曇天 小雨 屋久島 安房

村逗留 順風を得

同 廿四日 朝ヨリ晴 又曇

同 廿五日 朝ヨリ晴 又曇 晴 九ツ

後 種子島渡海ニ風小吉と云ニ付 荷

物積立 乗船侍 順風ならず 此夜

船中止宿

同 廿六日 大曇 風素程佳と云て出帆

八九里も舟行 種子島内ニ至て逆風並

雨小降ニ付 種子島内 島間村江上ル

止宿 本陣 市郎左工門 脇宿 嘉兵

衛 金作 上陸 蚤雨 夜ニ大風雨

同 廿七日 朝ヨリ雨 午前ヨリ止 又

微雨 種子島佐渡内 浦方役 日高源

右工門 当島間村年寄 岩川嘉兵衛

出ル

同 廿八日 朝ヨリ曇ル

同 廿九日 朝曇 或ハ雨 或小晴 種

子島佐渡 赤尾木年寄 時任大左工門

上妻七兵衛 来ル 番頭 美埜半兵衛

上妻才十郎 浦役 森十郎左工門 郡

見廻 日高団右工門 来ル 此夜 少

測